

2012年第1期 第8課 被造物への配慮

安息日午後、今週のテーマ・「彼らは神の恵みの管理人です。…彼らは主の金銭をもってひと時のみならず、永遠のために商売をしているのです。そして彼らの才能の活用か誤用かによって、来世の地位と責任が決定されます。もしそれを自分自身の称賛のために用いるなら、彼らは愛情を神から神の賜物に移すことになり、それは偶像となります。彼らは義なる裁き主の御前で、会計報告をしなければなりません。あなた自身とあなたが所有する一切のものは神の所有であり、人類の祝福のため、また主イエス・キリストの御国の発展のために用いられるべきなのです」、『レビュー・アンド・ヘラルド』(以下RH)、1888年2月14日(英文)。

日曜日、ロブスター解放運動!「洪水が地に満ちていた時、それは果てしない湖のように見えました。神が最後に地上をきよめられる時、それは果てしない火の池のように見えることでしょう。神は洪水の激動のさなか、箱舟の中に8人の義人たちがいたために箱舟を守られたように、義人アベルから最後の聖徒にいたる、全時代の忠実な者たちがいる新エルサレムを守られます。…都は熔け尽くす諸要素の中にあっても、損なわれることなく立つのです」、エレンG. ホワイト注、『SDA 聖書註解』第7巻、986頁(英文)。

月曜日、被造物への配慮に関する声明・「(ささげ物の制度について)このように人々は、神が彼らの野原や羊の群れ、家畜の真の所有者であられ、神が彼らの種まきと獲り入れのために日光と雨を送り、彼らが所有するすべてのものは神の創造物であって、彼らは神の財産の管理者とされたことを絶えず思い起こすのでした」、『RT』、1889年9月10日(英文)。

火曜日、被造物への配慮・「もし人が主の財産の忠実な管理者としての義務を果たすなら、パンを求める叫びも、欠乏に苦しむ者も、裸の者や貧困者もなくなることでしょう。人類が陥った苦しみの状態は、人の不忠実によるものです。もし神の管理者とされた人々が、彼らに与えられた目的に従って主の財産を適切に用いたならば、この苦しみの状態はなかったことでしょう。主はたとえの中で金持ちを試されたように(ルカ 12:13-21)、人に良いものを豊かにお与えになることによって、人々を試されます」、『RT』、1894年6月26日(英文)。

水曜日、安息日と環境・「安息日はこの時代の試金石です。霊と真理をもって第4条に従う時、人は十戒のすべての教えに従うでしょう。この掟を完成するために、人は神を最高に愛し、彼が造られたすべての被造物への愛を行使しなければなりません。主は私たちに、「安息日を心に留め、これを聖別せよ」と勧めておられます。これは彼の奨励なので、この掟を心に留めるように持ち出すことによって人々を疲れさせていると、だれが私たちを責めることができるでしょうか?」、『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』、1896年2月13日(英文)。

木曜日、人類の支配権・「今日の世界の罪は、イスラエルに滅亡を招いた罪と同じものである。神への忘恩、機会と恩恵をなおざりにすること、神の賜物を独り占めにすること—これらがイスラエルに怒りを招いた罪のもとであった。それはまた、今日の世界にも滅びをもたらしつつあるのである」、『希望への光』、1304頁、『キリストの実物教訓』、281頁。